

解答



『かなひろい①（蜘蛛の糸）』

芥川龍之介の作品を読みながら「あ・い・う・え・お」
に○をつけましょう

あるひのことでござい[○]ます。お[○]しゃかさまはごくらくのはす
い[○]けのふちを、ひとりでぶらぶらお[○]あ[○]るきになってい[○]らっし
ゃい[○]ました。い[○]けのなかにさい[○]いてい[○]るはすのはなは、みんな
たまのよ[○]うにまっしろで、そのまんなかにはあ[○]るきんい[○]ろのず
い[○]からは、なんともい[○]えないよ[○]いにお[○]いが、た[○]えまなくあ[○]た
りへあ[○]ふれてお[○]ります。ごくらくはちよ[○]うとあ[○]さなのでござ
い[○]ましょ[○]う。やがてお[○]しゃかさまはそのい[○]けのふちに[○]お[○]たた
ずみになって、みずのお[○]もてをお[○]お[○]っているはすのあ[○]い[○]だか
ら、ふとしたのよ[○]うすをごらんになりました。このごくらく
のはすい[○]けのしたは、ちよ[○]うどじこくのそこにはあ[○]た[○]って[○]お[○]
ますから、すい[○]しよ[○]うのよ[○]うなみずをすきとお[○]して、さんず
のかわやはりのやまのけしきが、ちよ[○]うどのぞきめがねをみ
るよ[○]うに、はっきりとみ[○]えるのでござ[○]います。



○の数 合計 51 個